

# 1 宣言の普及

中野区は、「憲法擁護・非核都市の宣言」に込められた恒久平和への願いを日常的に広く区民に伝えるため、平和資料展示室やモニュメントの設置、シンボルマークの制定を行ってきました。また、平和に関連した史跡の紹介も行っています。

## (1) 平和資料展示コーナー

2016（平成28）年4月から区役所4階に常設した。戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に伝えるため、平成28年3月末まで平和の森公園事務所内「平和資料展示室」で展示していた平和パネル・資料等の展示を行っている。（閲覧無料）。



- ・所在地・・・中野四丁目8番1号中野区役所4階
- ・開館時間・・・午前8時30分～午後5時
- ・休館日・・・土・日曜日、祝日、年末・年始
- ・問合せ・・・03-3228-8987（中野区 平和・国際化担当）

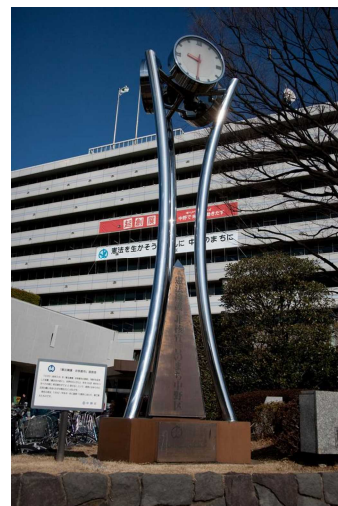
## (2) モニュメント

中野区では、平和の意義を伝える象徴として、区内の施設や公園等各地域にモニュメントを設置している。

### ① 「憲法擁護・非核都市」宣言塔・・・中野四丁目8番1号

1983（昭和58）年「憲法擁護・非核都市の宣言」1周年を記念して、宣言に込められた「憲法を大切にし、世界中の人々と手をつなぎ、核をもつすべての国に、核兵器をすてよと訴える」という区民の声を表わすシンボルとして設置された。

現在の塔は、1992（平成4）年に宣言10周年にあたり、建て替えたもので、宣言文とスローガンが記されている。



### ② 「護憲の像」ー母と子の平和ー・・・中野二丁目13番14号



憲法擁護と平和の願いをこめて漫画家の森哲郎さんから区に寄付されたブロンズ像。

1984（昭和59）年5月3日、勤労福祉会館・女性会館の前庭に設置された。作者は江田正盛氏。

③ 平和記念碑・・・新井三丁目37番6号

「憲法擁護・非核都市の宣言」の4周年及び国際連合の定めた「国際平和年」を記念し、1986（昭和61）年8月に、平和の森公園に設置された。

この記念碑にはめこまれた石は、広島市庁舎の建て替えに伴い、それまで使われていた庁舎の被爆敷石を譲り受けたもの。長い年月、原爆のすさまじさや恐ろしさを伝え続けて来たこの石に、区民の平和への願いである宣言文が刻まれている。



④ 戦災の木・・・若宮三丁目53番16号

1991（平成3）年8月、荒川区西日暮里の工事現場の地下から2本の木が発見された。

調査の結果、この木は、1945（昭和20）年4月13日の空襲で焼かれた「しいの木」であることが判明。

区では、平和で安全な暮らしを願い、尊い命を奪った戦争のひとつの証しとして「戦災の木を保存する会」よりこの「しいの木」の寄贈を受けた。

現在、この木は、中野区立若宮小学校の校庭で公開されている。

2006（平成18）年9月、2007（平成19）年8月に修復工事を実施。



⑤ 「憲法擁護・非核都市の宣言」銘板記念碑

宣言の意義を日常生活の中で広く伝えていくため、区民が憩い、集い、交流する場所である区内公園（70か所）に、1992（平成3）年度から1994（平成5）年度にかけて、宣言文を刻んだ記念碑を設置した。

※設置時点の状況

設置年	公園名
1992(平成3)年度	南台、城山、栄町、中央西、杉山、宮前、早稲田通り、丸山塚、北江古田、北中野、新井薬師、江原、沼袋西、上高田ニ丁目、桜山、鷺宮運動広場、囲町、大和、丸山、上鷺東
1993(平成4)年度	弥生、みなみ、ささの葉、南台三丁目、れんげ、東郷、朝日が丘、中央、弥生こぶし、上の原、川添、桃園川、文園、上高田北、新井南、沼袋、みずのとう、東山、たんぼぼ、こうさぎ、西大和、大和北、みすみ、かしの木、鷺六、みほと、アカシア広場、武蔵台、上鷺
1994(平成5)年度	南部、ばんだ、若の芽、谷戸運動、塔の山、本六、千代田、仲町、若葉、囲桃園、あじさい、おたき、上高田、上高田台、新井東、沼四緑、江古四しいの木、こまどり、啓明、双鷺

⑥ 被爆クスノキ2世・被爆アオギリ2世・・・新井三丁目37番6号

2002（平成14）年9月3日、平和の森公園第二期整備区域の開園式において、憲法擁護・非核都市の宣言20周年を記念し、長崎市、広島市の両市よりそれぞれ、被爆したクスノキとアオギリの苗木の寄贈を受け、植樹を行った。

【被爆クスノキ2世】

1945（昭和20）年8月9日午前11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された。被爆クスノキ2世の親木は、爆心地の南東約800mの地点にあった山王神社で被爆した。一時は枯れそうになったが、その後樹勢を盛り返し、現在は長崎市の天然記念物に指定されている。この親木の種から育てられたのがこの被爆クスノキ2世である。

【被爆アオギリ2世】

1945（昭和20）年8月6日午前8時15分、広島市に原子爆弾が投下された。被爆アオギリ2世の親木は、爆心地の北東1.3kmにあった旧広島通信局の中庭で被爆したが、焦土の中で青々と芽を吹き返し、樹皮が傷跡を包むように成長を続けている。この親木の種から育てられたのがこの被爆アオギリ2世である。

【被爆クスノキ2世】



【被爆アオギリ2世】



### ⑦ ポプラ2世…新井三丁目37番6号

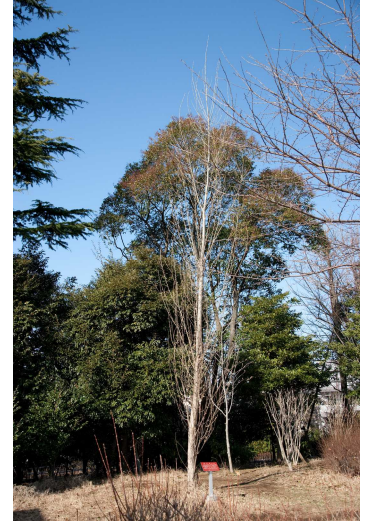
2006（平成18）年3月25日、戦後60周年記念として、広島市の市民グループから戦災復興のシンボルとなったポプラの苗木の寄贈を受け、平和の森公園に植樹を行った。

【ポプラ2世】

#### 【ポプラ2世】

戦後、広島市基町の水辺は被災して住居を失った人々の生活の場となった。1957（昭和32）年の供木運動により、ポプラが多く植えられた。その後、護岸整備で多くの樹木が伐採されるなか、1本のポプラの樹が水辺のシンボルとして残された。

2004（平成16）年9月の台風で根こそぎ倒れたが、多くの市民の声によって、再生が決断され、倒木から3日後に再び同じ水辺に立ち上がった。残る根に希望を託し11mに切り詰められたポプラが今も多くの市民に見守られている。その根元で育ったのがポプラ2世である。



### （3）シンボルマーク

1985（昭和60）年、戦後40年と「憲法擁護・非核都市の宣言」3周年を記念して、中野区は、全世界の人々に平和を呼びかけ、ともに考えるための非核・平和のシンボルマークを募集した。

30点の応募があり、審査の結果、東中野で建築設計事務所を経営している宮坂健二氏の作品が入選。

このマークは、平和の象徴である鳩に中野区章と地球をあしらい、鳩が中野から大きく世界へ羽ばたこうとする姿を表しており、中野区民の平和への祈りが全世界へ広がり、恒久平和が築かれることを願っている。

決定してから現在まで、このマークは、平和推進のため、スローガン「憲法をいかそう ぐらしに 中野のまちに」横断幕や各種パンフレット等に使用されている。

#### ○ 制定の経過

- ・ 1985（昭和60）年5月25日、6月15日号の中野区報でシンボルマークの募集を呼びかける。
- ・ 30点の応募があり、職員による審査会で2度の投票により、入選作1点、佳作2点、努力賞1点を選出。
- ・ 7月20日、入選、佳作、努力賞各作品の作者の表彰式を実施し、区長より賞状と記念品を贈呈。



#### (4) 史跡

中野区内には、空襲時の傷跡が残るなど、戦争の記憶を呼び起こす貴重な史跡が残っている。

##### ① 旧中野刑務所表門

中野刑務所（旧豊多摩刑務所）は、「治安維持法」が1945（昭和20）年に廃止されるまで、政治犯や思想犯を多く収容していた。戦後、ねばり強い住民運動により、1983（昭和58）年3月に廃庁、その跡地は、平和の森公園となった。

現存する赤レンガの表門は後藤慶二氏の設計による大正時代の名建築と言われている。



- ・所在地・・・新井三丁目37番3号 法務省矯正研修所東京支所内
- ・アクセス・・・西武新宿線「沼袋」駅下車、南口から 徒歩5分

##### ② 明治寺（百観音）のイチョウ



1945（昭和20）年5月25日の空襲で炎上した本堂の熱で片側が焼かれ、その時に洞穴ができたイチョウの木である。

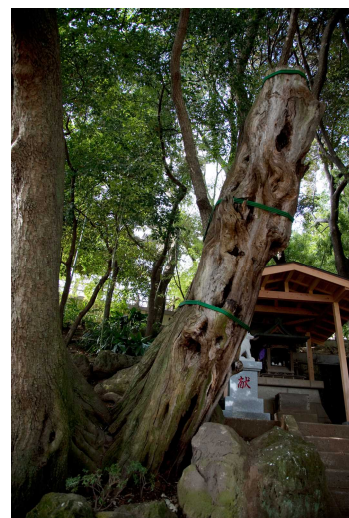
この洞穴は、以前は人が入れるぐらいの大きさがあったが、木の成長に伴い、その穴はだんだん小さくなってきている。

- ・所在地・・・沼袋二丁目28番20号
- ・アクセス・・・西武新宿線「沼袋」駅下車、北口から 徒歩4分

##### ③ 東光寺のしいの木

「山の手大空襲」で、しいの木に焼夷弾が落ちて木が枯れたが、根が生きていたので新しい芽が出て成長し、大きな枝を広げて朽ちた大木の幹を抱き支えるかのように、生き生きと天に向かって伸びている。

- ・所在地・・・上高田五丁目21番5号
- ・アクセス・・・西武新宿線「新井薬師前」駅下車、北口から 徒歩10分

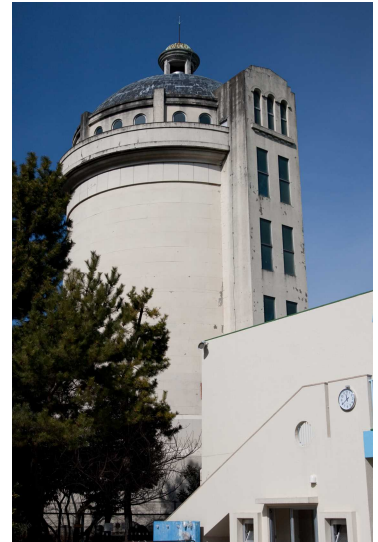


#### ④ 旧野方配水塔

空襲時の弾丸の傷跡が残されている配水塔。

関東大震災後、都市化による水の需要に応えるため、江古田に設けられた給水場に1929（大正4）年、この野方配水塔がつくられた。この配水塔は1966（昭和41）年に配水を止め、2010（平成22）年に国の登録有形文化財（建造物）となった。

- ・所在地・・・江古田一丁目3番 みずのとう公園内
- ・アクセス・・・JR「中野」駅北口より、関東バス中12系統「江古田駅」行き乗車、「水道タンク前」下車、徒歩1分



#### ⑤ 成願寺の防空壕



中野長者・鈴木九郎の寺として知られる成願寺に今も残っている防空壕は、総延長40メートル、総面積は約80平方メートル。壕は崩れる危険があったので、寺は鉄筋で補強工事を行った。

- ・所在地・・・本町二丁目26番6号
  - ・アクセス・・・東京メトロ丸ノ内線、都営大江戸線「中野坂上」駅下車、1番出口から徒歩3分
- ④防空壕入口には木戸があつて鍵がかかっているが、寺に頼むと鍵を開けて壕内を見学させてくれる。

#### ⑥ 石棒さま

空襲によって破壊され、焼けただれた笠付の庚申塔。

戦後まもなく、地元の人々が崩れ落ちた石片を集めてセメントで固め、改めておまつりをした。それで石の棒のようになったことから「石棒さま」と呼ばれるようになった。

- ・所在地 中央一丁目41番1号
- ・アクセス・・・山手通り沿い、区立第十中学校脇  
東京メトロ丸ノ内線、都営大江戸線「中野坂上」駅下車  
A1出口から徒歩3分



#### ⑦ 白玉稻荷神社の常明灯



戦火を受けて、焼けただれた常明灯。

白玉稻荷神社は、もとは宝仙寺境内にあったが、明治維新以後の神仏分離の際に、現在の場所に分社された。

- ・所在地・・・中央二丁目8番24号
- ・アクセス・・・山手通り沿い、区立第十中学校向かい側  
東京メトロ丸ノ内線、都営大江戸線 「中野坂上」 駅下車、  
A 2 出口から徒歩 2 分

### ⑧布袋様



戦火をくぐり抜けた布袋様。地元の人が破損個所を修理し、表面に茶色の塗装を塗って修復したもので、地元の皆さんの幸福と平和を見守っています。

- ・所在地・・・中央二丁目58番
- ・アクセス・・・区立宮前公園向かい側  
東京メトロ丸ノ内線、都営大江戸線 「中野坂上」 駅下車、  
A 2 出口から徒歩 9 分